

## **[成果情報名] 富士北麓地域におけるスイートコーン抑制作型の確立**

**[要約]** 富士北麓地域の抑制作型において、9月中旬～11月上旬にかけて連続した出荷が可能である。定植栽培の場合は、8月第2週までに定植し、直播栽培の場合は、8月第1週までに播種を行う。

**[担当]** 山梨県総合農業技術センター・高冷地野菜・花き振興セ・岳麓試験地・志村貴大

**[分類]** 技術・普及

---

### **[背景・ねらい]**

近年、富士北麓地域では、観光客の増加に伴い、主力品目であるスイートコーンの需要が拡大しており、夏期だけでなく秋期まで需要が高まっている。一方、当地域では秋期には急激な気温の低下によりスイートコーンの安定生産は非常に難しい。そこで、当地域に於ける抑制作型の確立を図ることで、産地による夏期から秋期までの連続出荷を目指す。

### **[成果の内容・特徴]**

#### **定植栽培（図1、表1）**

1. 9月第3週出荷は、播種を7月第1週に行い、第3週に定植する。
2. 9月第4週出荷は、播種を7月第2週に行い、第4週に定植する。
3. 10月第1週～2週出荷は、播種を7月第3週に行い、8月第1週に定植する。
4. 10月第3週～4週出荷は、播種を7月第4週に行い、8月第2週に定植する。ただし、年により品質が不安定となり、可販率は低下する。

#### **直播栽培（図2、表2）**

5. 9月第4週出荷は、7月第3週に直播する。
6. 10月第2週～3週出荷は、7月第4週に直播する。
7. 10月第4週～11月1週出荷は、8月第1週に直播する。ただし、年により品質が不安定となり、可販率は低下する。

#### **定植・直播栽培共通（図3、図4）**

8. 抑制作型では、定植日又は直播日が後期になるにつれて収穫までの日数が長くなる。

### **[成果の活用上の留意点]**

1. 試験は高冷地野菜・花き振興センター岳麓試験地（標高820m）で行った。
2. 黒マルチを使用し、施肥は基肥をN-15kg/10a マルチ下畝内施肥し、追肥はN-10kg/10aを株元散布する。
3. 1条株間20cm栽培、床幅75cm、通路幅75cm（栽植本数3,333株/10a）で栽培し、品種は現地慣行である「恵味ゴールド（88日タイプ）」を使用した。
4. すず紋病及びその他病害虫の適期防除を行う。

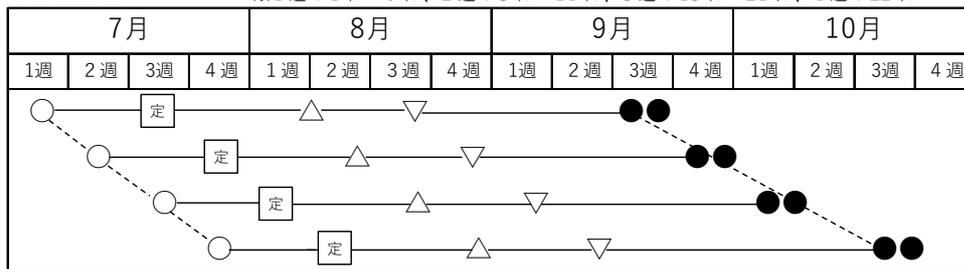
### **[期待される効果]**

1. 秋期出荷の作型確立により、産地による夏からの連続出荷が可能となる。

## [具体的データ]

### 定植栽培

※1週：1日～7日、2週：8日～14日、3週：15日～21日、4週：22日～



○：播種 □：定植 △：雄穂抽出期 ▽：絹糸抽出期 ●：収穫

図1 定植による抑制栽培の作型図

表1 定植時期の違いが秀品率に及ぼす影響

出荷時期	播種時期 (育苗)	定植時期 <sup>1)</sup>	2019年		2018年	
			雌穂重 g	可販割合 <sup>2)</sup> %	雌穂重 g	可販割合 <sup>2)</sup> %
9月 第3週	7月 第1週	7月 第3週	451	94.7	373	78.3
9月 第4週	7月 第2週	7月 第4週	443	90.4	-	-
10月 第1週～2週	7月 第3週	8月 第1週	396	83.3	364	70.8
10月 第3週～4週	7月 第4週	8月 第2週	357	73.7	311	50.9
11月 第2週	8月 第1週	8月 第3週	収穫不可	0.0	306	39.8

2)可販割合・・・L以上で剥き身長のうち不稔長の割合が1/5以下のものの割合。

1)200穴セルトレイに播種後2週間の苗を定植

※日数は2カ年の試験結果の平均値

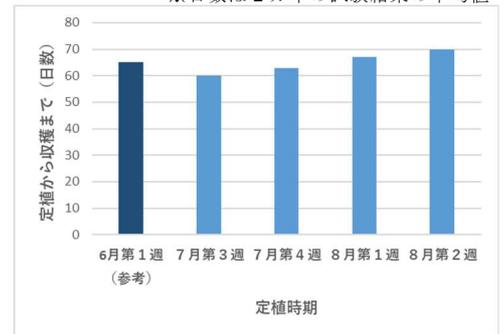
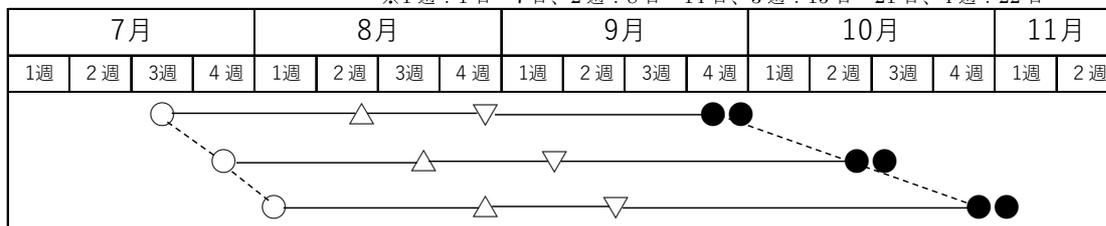


図3 定植から収穫までの日数

### 直播栽培

※1週：1日～7日、2週：8日～14日、3週：15日～21日、4週：22日～



○：播種 △：雄穂抽出期 ▽：絹糸抽出期 ●：収穫

図2 直播による抑制栽培の作型図

表2 直播時期の違いが秀品率に及ぼす影響

出荷時期	播種時期 <sup>1)</sup> (直播)	2019年		2018年	
		雌穂重 g	可販割合 <sup>2)</sup> %	雌穂重 g	可販割合 <sup>2)</sup> %
9月 第4週	7月 第3週	435	92.6	403	93.0
10月 第2週～3週	7月 第4週	427	78.0	364	80.0
10月～11月 第4週～1週	8月 第1週	361	64.9	326	59.1
11月 第2週～3週	8月 第2週	287	34.9	257	26.4

2)可販割合・・・L以上で剥き身長のうち不稔長の割合が1/5以下のものの割合。

1)播種量は1穴に2粒播きとする。

※日数は2カ年の試験結果の平均値

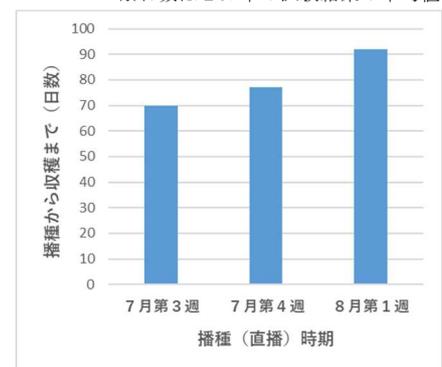


図4 直播から収穫までの日数

## [その他]

研究課題名：スイートコーンの生産拡大に向けた作型開発および栽培技術改良

予算区分：県単（重点化） 研究機関：2017年～2020年

研究担当者：志村貴大、渡辺淳、窪田哲、五味敬子